

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		パーティションでプライベート空間を作り、個々の課題に取り組みやすいよう努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な資格を有した職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内は、フラットなワンフロアの設計。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		まだ細かな課題は多いが、職員研修でもPDCAについての勉強会を実施しながら改善を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		送迎時等に保護者とのコミュニケーションを取り、家での様子や困り感を把握するよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果だけでなく、改善策や将来的なビジョンについても公開するよう努めている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	本部のある高坂では外部の声も反映できているが、桜新町教室は地域との連携を含め、教室独自の評価を検証する必要がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部及び社内研修で、資質向上に努め、手厚い支援を実践している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを用いて、ニーズや課題を描出し、計画書に反映。個別性を重視し、変化を見逃さないよう取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを用いて、障がいの程度や支援ニーズを明確化している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			その子の支援に必要な有資格者を配置。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			PDCAを用いてアセスメントしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子どもたちの声も反映しながら計画やタイムスケジュールを策定。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別学習の時間を確保しつつ、小集団活動もバランスよく設けるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日支援開始前に、利用人数や支援内容、役割分担を確認するミーティングを徹底。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後、必ず記録を取り、良かった点や次回への課題を確認。アセスメント結果は、専門資格者が分析し、職員間で情報を共有。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援後は必ず支援内容を残すことを徹底。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも半年に1回、必要に応じモニタリングを実施。ニーズに合わせた計画を策定している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		新しく入職した職員にも正しく理解してもらうよう、努める必要がある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には2名以上の職員で出席し、偏った見方にならないよう努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			面会のほか、学校からのプリント類などで下校時刻や連絡事項を把握している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療ケア児の利用なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相互に密な連携を取り、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ実績なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	まだ実績なし。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	研修会へは参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者懇談会実施のほか、送迎時に意見交換している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			その家庭に必要な「自宅で出来る療育法」を提供している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			パンフレット等の資料を活用し、目に見える形で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			小さな困り感が、大きな問題に発展する前に相談できる良好な関係性を構築している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の情報交換会を実施している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応できるよう職員全体で早期に対応することを徹底している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		年に数回、会報を発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			外部に漏出しないよう管理している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一度では理解しきれない難しさがあるので、複数回に分けるなどして丁寧な対応を心掛けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	まだ実績なし。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		定期的な見直しを図り、より実践的なものにアップデートしたいと考えている。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回、訓練を行っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修等へ参加し、知識の向上や意識改革を行っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		必要なお子さまには計画書に記載する必要がある。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報と診断名に基づき、細心の注意を払っている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を共有し、職員の注意意識の促しと、環境の改善を図っている。	